



筑西地域プロジェクト実績発表会を開催!

1月14日、筑西合同庁舎において、筑西地域プロジェクト実績発表会を開催し、管内農業後継者クラブ員や関係機関など60名が参加しました。

当日は、筑西4Hクラブ下館支部・同関城支部・協和園芸4Hクラブ・大地のめぐみの各代表者によるプロジェクトの実績発表が行われたほか、株式会社東都経営力向上センターの伊能賢一氏による「これからの農業における雇用について～雇用の基礎から人材育成まで～」と題した講演会を開催しました。



4Hクラブ員による発表の様子

プロジェクト発表では、熱のこもった発表と活発な質疑応答が行われ、農業者代表等の審査員による厳正な審査の結果、筑西4Hクラブ関城支部の小波智志さんが最優秀賞を獲得しました。小波さんは、筑西地域代表として、1月31日に行われる県のプロジェクト実績発表会に出場します。

<最優秀賞>

「抑制キュウリ栽培における収量性及び果実品質向上に寄与する灌水方法の検討」

筑西4Hクラブ関城支部 小波智志さん

<優秀賞>

「獣害(イノシシ)対策における省力化の検討」

大地のめぐみ 大関直之さん

「水稲輸出用品種ほしじるしの多収栽培方法の検討」

筑西4Hクラブ下館支部 水越康成さん

「露地野菜導入による我が家の経営体系の見直し」

協和園芸4Hクラブ 深谷拓希さん

農業経営士が農業大学校園芸部の学生に就農啓発!

12月13日に就農啓発講座が、県立農業大学校園芸部(坂東市)で開催されました。

これは、農業経営士協会が主催し、茨城農業を支える担い手を確保するため関係機関と連携し、若者に職業としての農業の魅力伝え、就農促進を図ることを目的に実施しました。

内容は、全体会、分散会、個別相談を行い、分散会は、3~4グループに分かれて座談会形式で実施しました。農業経営士、女性農業士、青年農業士が講師となり、学生に農業の魅力や将来性を経験談の中で伝え、管内からは、筑西市の農業経営士が対応しました。

分散会は、学生の自己紹介、講師の経験談、質問の順で進め活発な会となりました。学生からは、就農するまでに必要な知識や技術は何か、農家の休日はどのくらいかなど活発な質問があり、講師の話聞いて就農へのイメージがつかめ、就農意欲が高まったようでした。

管内の経営体が農産加工品コンクールで入賞

1月16日、笠間市の件農業総合センターにおいて令和元年度農産加工品コンクールが開催され、下妻市の倉持ピッグファウム株式会社「豚職人工房ぶう～ぶ～」がテイスティング賞を、筑西市の「奥都屋(よつや)」がデザイン・アイデア賞を受賞しました。

農産加工コンクールは、地元農産物を活用し、茨城らしさをアピールできる加工品を製造・販売する農業者を対象として開催され、優れた出品の表彰を通して商品性が向上すること、農業経営の多角化を志向する農業者の取り組みを促進することを目的としています。

受賞商品をぜひ購入してみてください。



テイスティング賞

倉持ピッグファウム株式会社
豚職人工房ぶう～ぶ～
ハム屋さんのソーセージセット

デザイン賞・アイデア賞

奥都屋(よつや)
奥都屋の漬物ギフトセット



にじのきらめき栽培講習会を開催

水稲主食用品種「にじのきらめき」は、県西地域で問題となっているイネ縞葉枯病に対して抵抗性があることに加え、高温耐性があるため、乳白米などの未熟粒が少ない特性があり、近年高温による品質低下がみられる「コシヒカリ」に比べ、収量・品質ともに優れているとされています。

JA北つくばで、令和元年に試験栽培をした結果、平均で10俵程度の反収が確保できただけでなく、粒が大きい特性があり、食味においてもコシヒカリ並みの評価が得られました。実需者の要望により令和2年度から本格的に作付け拡大を図るため、12月には「にじのきらめき」の栽培講習会を開催しました。普及センターとしても栽培方法等について支援していきますので、ご相談がありましたらお問い合わせください。



普及員のひとりごと ～須藤立～

家族4人になり、初の新年を迎えたと思ったらあっという間に1月も半ば過ぎ。夜は厳しい寒さも昼間は温かい日が続いて、冬を疑うような陽気。それでも我が家の庭に植えた蠟梅の樹はたくさんの花芽をつけて冬を演出します。花芽を狙うヒヨドリを牽制しつつも、この時期の蠟梅をゆっくり楽しみたいところです。